VOL.22 2022.1.1

# 進藤金日子（かねひこ）キャッチボール通信

発行：自由民主党東京都参議院比例区第３８支部

鈴木財務大臣へ予算確保の要請活動

## 令和4年を迎えて決意を新たに!

明けましておめでとうございます
皆様にはお健やかに新年をお迎えのことと
心よりお慶び申し上げます

皆様方からご支援をいただき、国政での活動も5年5カ月が経過し、参議院議員としての任期も残すところ7か月となりました。新年に当たり、今後の政治活動の方向を明確にしました。「安心安全な「食」の未来を切り拓く」、「大切な「農林水産業」の未来を切り拓く」、「強靭で美しい「農山漁村」の未来を切り拓く」ことを「3つの闘い」とし、この闘いに向けて「8つの戦略」を実働することとしました。「8つの戦略」とは、①「農林水産業を支える基盤整備予算を安定確保」、②「次世代につなぐ農林水産業の成長産業化を実現」、③「持続可能な農林水産業と農山漁村づくりを推進」、④「農山漁村の現場を支える人材・体制を強化」、⑤「豊かで活力ある農山漁村を創生」、⑥「災害に強い強靭な地域づくりを加速化」、⑦「女性が一層参画できる環境づくりを推進」、⑧「農林水産業・農山漁村に対する国民の理解を促進」することです。

私の政治活動の基本は、現場を視て、現場の声を聴くこと、まさに「現場主義」です。これまでの活動を通じて、予算の確保や各種制度の充実など一定の成果を挙げることができましたが、農林水産業と農山漁村を取り巻く状況は依然として厳しく、自然災害の頻発・激甚化、コロナ禍の影響を踏まえた経済安全保障の構築など、解決すべき政策課題が山積しています。

新年に当たり、未来を切り拓く「3つの闘い」と「8つの戦略」をお示しし、山積する政策課題の解決に向けて、専心努力してまいる決意を新たにしているところです。**皆様の引き続きのご指導とご支援を心からお願い申し上げます。**

## 令和3年度補正予算の成立と令和4年度予算の政府原案が決定

・農林水産関係の令和3年度補正予算が臨時国会で成立しました。農林水産公共予算は、農業農村整備関係事業は1,832億円、治山事業306億円、森林整備事業461億円、水産基盤整備事業270億円です。
・令和4年度当初予算政府原案での農業農村整備関係事業は4,468億円、治山事業620億円、森林整備事業1,248億円、水産基盤整備事業727億円です。
・厳しい財政事情の中で一定の額が確保できたのは、偏に現場からの強い要請と関係の皆さんの熱意の賜物と感謝申し上げます。今後は、令和4年度予算案、関係法案等の早期成立に向け全力で取り組んでまいります。

## 新たな闘いに向けて「進藤金日子君を励ます会」盛大に開催

・11月16日、「進藤金日子君を励ます会」が進藤金日子後援会主催で開催されました。全国各地の土地改良関係者、森林・林業関係者、水産関係者、建設コンサルタント関係者をはじめとした多くの方々にご臨席賜りました。
・励ます会では、更なる挑戦に向けて再び国政の場で活躍できるよう、熱く、心温まるご声援を頂戴しました。多くの皆様方のご厚情に心から感謝申し上げます。

「進藤金日子君を励ます会」でコロナ対策に配慮してがんばろう三唱▶

## 現場の実態を視て、声を聴いて、声を実現に取り組んで参ります。

今後もあらゆる機会をとらえ、全国津々浦々の現場を訪問、現場の声を背景に、「強い農林水産業」と「美しく活力ある農山漁村」を創るため、あくまでも現場主義、地域主義を基本として、国政の中で積極的に活動して参ります。

参議院議員 進藤金日子

# 毎日元気に活動しています。

討議資料

各種会議・集会等に参加し、積極的に活動を実施しています。

予算確保に向けた農業農村整備の集いで挨拶

自民党農林関係合同会議に出席

財務省へ要請活動

全国土地改良大会群馬大会にリモートで挨拶

## 各地で皆さんと意見交換

国政報告会の開催、各地での各種総会等を通じて、多くの皆さんの声や現場の状況を聴かせていただいております。

島根県の農業法人の皆様と意見交換

静岡県で土地改良区関係者と意見交換

青森県で建設業関係者と意見交換

佐賀県の被災地現場を調査

岩手県の土地改良関係者へ国政報告

群馬県の土地改良区役員研修会で講演

## 皆様からたくさんの質問や激励をいただいてます。

**Q** 自然災害が多発しており農地・農業用施設の災害復旧事業の事務手続を簡素化できませんか?

**進藤** 農地・農業用施設の災害復旧事業は、農地面積変更や３割を超える工事費変更は国との協議が必要でしたが、昨年12月から２割減までの農地面積変更や300万円以下の工事費変更について国との協議が不要となりました。これにより、災害復旧に関する事務負担が大幅に軽減されるものと期待されます。

**Q** ドローンの規制強化により林業での利用が停滞することが心配です。

**進藤** 令和４年6月以降、無人航空機（ドローン・ラジコン機）等の登録が義務化されますが、林業におけるドローンの利用に向けては、国も先進的造林技術推進事業、スマート林業の導入支援事業により、ドローンの活用等をより積極的に図ることとしており、これらにより、引き続き利用は進んでいくものと考えています。

**Q** 北海道沿岸で発生した赤潮被害の状況と対応について教えてください。

**進藤** 赤潮の漁業被害は、ウニ、秋サケ・タコ等で８０億円を越えております。令和３年度補正予算において、北海道赤潮対策緊急支援事業で１５億円措置し、広域モニタリング技術の開発や新たな赤潮原因プランクトンの水産生物に対する毒性の影響調査等を行うとともに、漁業者によるウニ殻等の除去・処分、岩盤清掃、生残ウニの移植、漁場環境の把握等の漁場再生の活動支援が行われる予定です。

**皆様のご意見やご感想をお聞かせください。お待ちしています。**

ホームページ　Facebook　LINE


参議院議員 **進藤金日子事務所**

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館719号室
電話：03-6550-0719　FAX：03-6551-0719


毎日の活動については、進藤金日子オフィシャルサイトをご覧下さい。
https://www.shindo-kanehiko.com